

「いつでも・どこでも・誰にでも」  
たのしい科学の体験を！

\*

<キミ子方式>～<定番ゲーム>へ  
たのしさを生み出す法則性とは…



## ■「絵画入門」の後には、おもしろ<定番>ゲーム

子ども達と楽しむ方法も色々。その一つに<定番ゲーム>があります。たくさんの種類（内容）の中から、今日は、「音田が一番多く実践してきた<定番ゲーム>」を紹介することにします。午後からです。お疲れだと思いますが、お付き合いください。

### ①音田予想式・単純ビンゴと逆転ビンゴ

5×5=25でゲーム。クラスの半数がビンゴになれば1回戦終了。できれば2回戦はしてほしい。「今日は時間がないので、1回戦勝負！」と言って、下校前によくやっていました。<逆転ビンゴ>も面白い！ビンゴになった人が負け！

### ②グループ対抗・〇〇ハウ・マッチ

材料費は0円。新聞の折り込みチラシがあればそれでOK！というゲーム。★ルールがあることの素晴らしさに感動です。

### ③景品付き・大人のお悩み相談ゲーム・人生編

ウソの悩み・ホントの悩み・友達の悩み・笑える悩み・大きな悩み・小さな悩み・何でもOK！（遊び感覚で）★地域イベントでも使えるようになればシメタです。

### ④さすらいのギャンブラー

★今日は紹介のみ！

ジャンケンゲームの一つ。1グループ30枚（40枚でもいいがグループの合計は同じに）のカード（お金券）をグループメンバーで分ける。（5人班なら6枚/人）約3分間他のグループの人とジャンケン。勝ったら、カードを一枚もらう。終了と同時に、グループの<勝ちカード>を合計。多い方から順位が決まる。★元気のいい曲を流して勝負するとたのしい！★音田は<レッツゴー運動会！>



★高松先生<情報>：先週、和泉市で親子科学実験教室を開催（午前・午後の2回）。授業は<もしも原子が見えたなら>と「空気の分子模型作り」です。「親子科学実験教室も楽しいですね！」と高松さん。<科学>の基本は<原子・分子論>を学ぶこと。★これからも、楽しい科学実験教室の講師として大いに活躍してください。



## ■迷いながらも、「やめられない活動!」楽しい感想文が推進力!

●多少の希望的観測でもあるが、私はこの団塊の世代が日本に本物の老人文化や介護サービス、ニュータイプのボランティアなど、文化・ビジネス両面で新しいものを作っていくだろうと期待している。むしろもう会社時代のココならびの集団合戦は終わった。団塊ならぬ「小塊」で充分。「大志」より「小志」。個を活かしあえるもの同士が、ゆるやかに連帯していこう。人生それぞれ、人さまさま。人と家族の数だけの生き方、生き甲斐がある。「オレはこれにチャレンジする」というものを見つけ、そこで満足を味わったらいい。 ●定年後、これはわれわれの生き方だというライフ・スタイルを団塊とそれに続く世代は見せてほしい。(江坂彰)

一口レポート「西校」 第13回 出席：34名 実施日：9月25日

講座テーマ：大人も子どもも楽しめるおもしろ科学実験<自由電子とイオン>

講師 大阪府高齢者大学校 音田 輝元 先生

\*色々教えてもらいました。ありがとうございました。 \*音田先生は初めてでしたが、とても興味深く楽しかったです。 \*大変わかりやすく、身近な事で勉強になりました。ありがとうございました。 \*デンシとイオンの話、面白く、楽しかったです。 \*水は電気を通すのが常識と思っていたが、事実は通さないだった。常識をうたがえ。 \*自由電子の授業、楽しく受けられました。 \*電子、イオンのお話を楽しくききました。 \*自由電子、イオン、科学は楽しい。 \*なぞだらけの科学、楽しかったです。(理解力はなぞですが) \*たのしい話で時間をわすれました。 \*電気を通すものに興味があった。 \*自由電子とイオンの程度の問題。目からウロコの事柄ばかりで新鮮な授業だった。 \*実験化学楽しく学べました。 \*水は金属と同様に電気を通すものと思っていたが、ほとんど通電性がないのには、おどろいた。 \*化学の勉強が出来てよかった。 \*久しぶりの音田先生の講義、楽しくて良かった。 \*学校時代の科学の実験を思い出して楽しかったです。あっという間に時間がたちました。 \*音田講師の実験を交えた自由電子とイオンの話、楽しく拝聴出来ました。 \*おもしろ化学!本当におもしろくて楽しかった。たのしい電気の話でした。 \*とても楽しく科学の勉強ができて良かったです。 \*先生の久しぶりの講義を受け、楽しい時間を過ごしました。 \*楽しい授業でした。1日100万円使ってみたい。 \*子供の頃を思い出しました。もう1度、子供に帰れたら勉強しなおしたい。

### ディレクターのコメント

☆音田先生の科学実験、なんでこんなに面白いのでしょうか、全く前触れもなく引き込まれる感じですね。そこには先生がこよなく愛する子ども達や年寄りに向けてのシンプルでわかりやすい楽しい授業になっているからだと思います。

☆「<自由電子とイオン>の程度のもんだい」もう一度、1ページから15ページまで目を通してみると本当にわかりやすい内容であることが読み取れます。

★2年前から、区民カレッジで授業することが多くなりました。2018年度は府民カレッジでも授業します。ますます慌ただしくなりますが、可能な限りチャレンジです!(音田)